

様式第4号・その1(第7条関係)

令和2年4月17日

伊万里市議会議長 馬場 繁 様

氏名 力武 勝 乾 ●

令和元年度 伊万里市政務活動費収支報告について

伊万里市政務活動費の交付に関する条例第5条第1項により、別紙のとおり令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。



様式第4号・その2 (第7条関係)

令和元年度政務活動費収支報告書

議員名 力武勝範

1 収入 政務活動費 225,000円

2 支出

項 目	金 額 (円)	備 考
研究研修費		
調査旅費	77,970	
資料作成費		
資料購入費	26,550	
広報費		
広聴費	124,000	
人件費		
事務所費		
その他の経費	12,500	
合 計	251,058	

3 残 額 0円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

様式第5号・その2 (第7条関係)

(1調査1枚作成)

調 査 旅 費

(支出明細書)

調 査 目 的	① 廃校活用、観光振興、外国人観光客誘客について ② みんなで健康大作戦 ③ 図書館運営について
調 査 地	① のほりべっ文化交流館 カント・レラ ② 苫小牧市議会 ③ 石狩市民図書館
調 査 年 月 日	令和元年10月28日～令和元年10月20日 (宿泊の有無 (有) ・ 無)
調 査 結 果	別紙のとおり
経 費 明 細 書	
旅 費	77,970
そ の 他	
合 計	77,970 -

政務活動費 旅費計算書

旅行者 (2)坂本繁憲議員 (3)加藤奈津実議員 (8)中山光義議員
(9)力武勝範議員

期 間 令和元年10月28日～10月30日 (2泊3日)

行き先 ①のぼりべつ文化交流館カント・レラ
②苫小牧市議会 ③石狩市民図書館

内 容 ①廃校活用、観光振興・外国人観光客誘客について
②みんなで健幸大作戦 ③図書館運営について

備 考

※網掛けは、領収書添付

(単位：円)

項 目	金 額	摘 要	
運 賃	3,600	伊万里～福岡空港 (往復)	
	①	福岡空港～新千歳空港 (往復) ※バック料金に含む	
	1,700	新千歳空港～登別 (片道)	
	970	登別～苫小牧 (片道)	
	1,890	苫小牧～篠路(片道)	
	1,310	篠路～新千歳空港(片道)	
航空機ホテルバック (朝食付)	63,000	ホテル2泊	
食卓料(夕食相当分)	3,400	1,700円×2泊	
交通費	県外	2,100	700円×3日
計	77,970		

※旅費計算につきましては、伊万里市職員等の旅費に関する条例に基づき、最も経済的な経路及び方法により算出することとなっておりますので、申し出があった経路とは異なる場合があります。

領 収 証

No 019543

力武 勝範 様

令和元年10月18日

金額				千			円
		4	6	3	0	0	0

現金	
小切手	
振込	

上記の金額正に領収致しました
但し 10/28-30 北海道ビジネスパック代金として



あなたの一歩を目指して!

株式会社 西カ [Redacted] リスト

本社 [Redacted] 市新天町718-1

TEL: 0955-25-9010 FAX: 0955-25-9001

松浦旅行 [Redacted] 市志佐町里免384-1

サービス支店 [Redacted] TEL: 0956-3377 FAX: 0956-72-5570

担当者印



いまり新風会行政視察報告書

いまり新風会において、下記のとおり行政視察を行いましたので、その結果について報告します。

令和元年 12 月 1 日

伊万里市議会議員 馬場 繁 様

伊万里市議会議員
力武 勝範

記

視察日 令和元年 10 月 28 日（月）～30 日（水）
視察先 登別市役所（廃校活用、観光振興、外国人観光客誘客について）
苫小牧市役所（みんなで健幸大作戦事業について）
石狩市民図書館、（図書館運営について）
石狩市こども未来館（運営内容について）

視察の概要 各視察先及び視察事項の概要については以下記載のとおりです。

【登別市役所（廃校活用、観光振興、外国人観光客誘客について）】

1. 登別市の概要

登別市は、北海道の南西部に位置し、東西 18.5 km・南北 22.6 kmで面積は 212.21 km²で形状はほぼひし形をなしている。人口推移については、平成 27 年 3 月の世帯数 24,944 世帯・人口 50,255 人から、令和元年 7 月現在では、世帯数 24,864 世帯・人口 47,949 人と、他市と同様人口減少が進んでいる。

登別市東部は支笏洞爺国立公園の中核に位置し、登別温泉やカルルス温泉を抱える北海道有数の温泉観光地で、国内外から観光客が年間 378 万人以上訪れ、宿泊客数は 125 万人以上となっている。

また、登別市西部は室蘭からの市街地が続いており「工業都市」の一翼を担っている。

気温については、1 月の平均気温は、 -4.2°C 、8 月の平均気温は 19.6°C で、夏でも最高気温が 30°C を超えることは少なく、冬は最低気温が -15°C 以下になることはほとんどなく、道内でも比較的温暖で雪が少ない地域となっている。

2. 廃校活用について

（1）登別市ネイチャーセンター「ふおれすと鉾山」設立の経緯

昭和 49 年 3 月 鉾山小中学校閉校

昭和 53 年 10 月 鉾山小中学校施設を利用した、登別市民研修センター設置

平成元年 4 月 「ふるさと創生 1 億円」を契機に「いきいき人とまち推進会議」が発足。第一部会「自然と生活の調和部会」で自然をテーマとしたまちづくり論議や調査研究事業が始まる。

平成 6 年 研修センターの老朽化により改修計画を検討

平成 8 年 4 月 登別市総合計画において鉾山地区を人と自然のふれあい拠点と位

置づけ老朽化したネイチャーセンターの建設を計画

平成 11 年 4 月 ネイチャーセンター基本計画費 500 万円を当初予算に計上

平成 13 年 本体工事完成

平成 14 年 4 月 25 日 オープン

○目的 青少年の自然体験活動

市民の自然環境に対する意識の高揚を図る

○施設の概要

敷地面積：20995.63 m²

建物構造：RC造一部鉄骨造平屋建て

床面積：1493.34 m²

宿泊定員：80 名

○設立における事業内容

事業名：人と自然のふれあい拠点整備事業

事業年度：平成 11 年度～13 年度

総事業費：449,894 千円

①生態観察学習施設 47,618 千円

②宿泊体験学習施設 397,388 千円

③野外博物館整備 4,888 千円

○施設の運営

「特定非営利活動法人登別自然活動支援組織モモンガくらぶ」運營業務を委託

令和元年度委託料：36,910 千円

○施設管理体制等

休館日：月曜日及び年末年始（7・8 月は休館日なし）

開館時間：9：00～17：30

利用人数：平成 30 年度 21,756 人（平成 29 年度：23,685 人）

宿泊人数：平成 30 年度 3,254 人（平成 29 年度：3,802 人）

（2）札内高原館設立の経緯

生乳価格の低迷などから「農業所得の向上」と「ゆとりある農家経営」「活力ある農村の確立」を目的に、平成 2 年に市内酪農家と市民でつくる「登別農業振興研究会」が設立され、地元の生乳や肉の加工研究が始まった。しかし、安定した製品研究をするための活動の場がないことから、市に対して施設・設備の整備要望が行われた。

また、札内地区では、平成 10 年 3 月に小中学校の廃校が決定し、札内地区市政懇談会において、学校施設の跡地利用について地域住民の意向を聴取した結果、子供が遊べ、また、地域住民のコミュニティの場として残してほしいとの要望が市にあった。

市は、地域住民の要望と併せ、①地場産品の開発促進、②加工技術の取得を希望する地域農業者や市民に対しての技術指導、③市民や観光客を対象とした乳肉製品加工体験学習、④農村と都市との交流を深める場の提供等を目的に、平成 11 年度に旧札内小中学校の改修工事を実施し、平成 12 年 4 月に「札内高原館」をオープンさせ、加

工研究及び施設の管理、体験学習業務を「登別市農業振興研究会」（構成員：市内酪農家、農協、商工会議所）に委託した。

改修に伴う総費用：147,654 千円

「登別市農業振興研究会」は、ソーセージ、チーズ、アイスクリームの商品化へ向けた研究開発を行い、平成 16 年 1 月に「(有) のぼりべつ酪農館」として企業化された。

平成 17 年 5 月から、登別・室蘭産生乳を使った「のぼりべつ牛乳」の製造卸販売を行う。また平成 19 年には常温で半年間保存可能なプリン「のぼりべつ牛乳プリン」の製造委託及び卸販売を実施している。

登別市の学校給食の牛乳は、市教委で、これまで入札により購入していたが、高付加価値牛乳地域利用促進事業で北海道の補助を受け、(有) のぼりべつ酪農館と随意契約を結び、平成 19 年から「のぼりべつ牛乳」が学校給食用飲用牛乳となった。

給食用牛乳=200 ccパック 登別市=4,000 個/日 年間 81 万個

(3) のぼりべつ文化交流館カント・レラの設立経緯

平成 16 年に登別温泉中学校が登別中学校に統合されることで、廃校となった校舎について、地域住民から施設については、地域の発展の核となるような公共施設として利用してほしいとの強い要望が出された。

P T A や地域住民との懇談会を開催し、協議した結果、遺跡や考古学をテーマとした文化施設として再利用する方向が示された。

当時の出土品の現状は、発掘されてから 20 数年の間、旧札内小中学校（現 酪農館）の職員住宅等、使用していない施設を転々とし、展示されることもなく保管されてきたことから、多くが市民市内に遺跡があることを知らない状況にあった。さらに、保管施設の老朽化等の問題もあったことから、出土品を適切に保管するとともに、整理を進め展示し、市民や学校を対象とした講座や体験学習の場としての機能をもった施設として閉校した旧登別温泉中学校を利用することとなった。平成 18 年度の整備し、平成 19 年 6 月よりオープン。

整備総事業費：52,031 千円

運営：市職員 2 名～3 名、臨時職員 2 名体制で教育委員会による直接運営としている。

常時滞在し運営・管理を行っているのは臨時職員で、職員は施設のレイアウト、修繕等の維持管理、イベントの企画、体験・団体の対応を行っている。

開館期間=4 月～11 月までの 8 か月間

管理費（平成 30 年度決算）：臨時職員の人件費 約 236 万円、

施設の維持管理費 約 249 万円

*事業の効果

平成 19 年度（開館初年度 6 月～11 月）の利用者数 1,712 人

平成 20 年度 2,744 人（4 月～11 月）

平成 30 年度 3,569 人

少しずつではあるが増加しており、リピーターが多いこともアンケート調査

で判明している。見学に来た市民の多くが自分たちの住んでいる土地に遺跡があることを初めて知り、興味を持ったとの意見が多かった。中長期的な視点で、土地に対する思いが強まることは「地域の活性化」に繋がるものであり、まち（地域）づくりの重要な要素であると考えられる。

***問題点・課題**

建物が築 42 年経過し、温泉地区の硫黄成分により躯体自体の破損・劣化が著しく、これまでに防災アンプ及びキュービクルの交換などが行われており、雨漏り等の対応など今後のきめ細かい維持管理が必要である。



のぼりべつ文化交流館カント・レラ



出土品の展示

【所感】

今後の少子高齢化、人口減少により、全国様々な地域で学校の統廃合が進められていく中、跡地利用の問題がクローズアップされています。廃校となる学校の大半が過疎化地域で廃校後の校舎をどのようにするのか、解体して更地にしても、過疎化地域での土地利用の需要が少なく、そのまま遊休地として草刈り等の管理費の負担が残るケースが多いのではないかと思います。

そのような中、登別市では一早く廃校の活用について、地域住民からの意見や要望等を聞き、地域住民のための活用を地域住民とともに考え、地域住民による運営を取り入れるなど、積極的に取り組まれています。

地域での考えが単に行政にすべてを要望するのではなく、地域の方が自ら行動し、それを行政とともに作り上げ管理運営していく、地域力の高さに感心させられました。

伊万里市では現在、学校の規模適正化協議会において統廃合の協議が進められていますが、統廃合され廃校跡地や校舎をどのように活用するか、地域住民との協議を積極的に行い、地域住民同士でも具体的活用についての話し合いを行っていかねばならないと感じました。

3. 観光振興、外国人観光客誘客

登別市での観光は、そのほとんどが登別温泉であると言われています。登別温泉は、安政 5 年（1858 年）滝本金蔵が湯守となったのが始まりといわれており、明治 38 年には日露戦争傷病兵の保養所に指定されると「名湯」として全国にその名が広がり、7 平成 30 年には開湯 160 年を迎えている。

登別温泉は、自然湧出量 1 日 1 万トンと言われる豊富な湯量、世界的にも珍しく一つ

の温泉地で9種類の泉質が湧出していることから「温泉のデパート」と呼ばれている。

観光入込状況

年度	観光総入込 数(人)	前年度比	宿泊延人数	その内外国 人宿泊人数	前年度比	備考
H30	3,783,291	93.4	1,248,525	485,892	93.6	胆振東部地震
H29	4,048,916	105.1	1,314,736	518,936	108.1	
H28	3,851,917	98.4	1,279,449	479,856	101.9	
H27	3,913,018	110.6	1,284,184	470,502	126.2	
H26	3,536,386	105.6	1,214,022	372,555	118.4	
H25	3,346,659	117.6	1,211,762	314,506	136.5	

平成30年は、9月の胆振東部地震により減少しているが、その後徐々に回復しているとのこと。

これまで年々増加しているのは、単に名湯だけでなく様々な観光客誘致の取り組みの結果である。

【取組内容】

(1) 様々なところでのプロモーション活動

*北海道旅行プロモーション(仙台・東京・大阪)

北海道観光振興機構とJR北海道が主催する仙台、東京、大阪の旅行会社との商談会に参加

*関西・首都圏・九州教育旅行誘致事業(東京、大阪、九州)

北海道観光振興機構が主催する東京、大阪、福岡の学校関係者及び旅行会社の教育担当者との説明会に参加

教育旅行プロモーション事業に参加。神奈川県立内公立中学校訪問

*大型客船誘致プロモーション(東京)

室蘭港客船入港時のオプションツアー造成促進を図るため、室蘭市が行っているポートセールスに参加し、圏域のPRを実施

*中国・四国・九州修学旅行プロモーション

各地域の旅行会社を訪問し、修学旅行の誘致拡大を図るため、白老町での体験学習プログラムと登別市のサンライバスキー場のセールス実施

*関西・中部地方教育旅行誘致事業

*道外特別誘客活動事業

*道内特別旧客活動

*民族共生象徴空間PR事業

北海道登別洞爺広域観光協議会、登別・白老町観光連絡協議会、北海道新幹線×nittan地域戦略会議、北海道ドラマティックロード推進協議会など、近隣地域との連携により様々なプロモーション、イベントに参加し、数多くのPR活動がなされている。

(2) 外国人観光客誘致の取り組み

*多言語パンフレットの作成(英語、中国語、韓国語、タイ語)

***海外プロモーション**

- ・台湾プロモーション、マレーシアプロモーション、フィリピンプロモーション、タイプロモーション

観光客数をみると、平成 29 年度には 131 万人、外国人宿泊客数では過去最高の 51 万人となり、観光活動の成果が表れていると考えられる。

外国人観光客数では、全国的な傾向と同じく、韓国、中国、台湾が大きな伸びを示しているとのこと。また近年は、個人旅行志向が高まり、高級志向が増加しているとのことである。

さらに、平成 30 年度には、市内初となるゲストハウスがオープンし、これまで少なかったイスラエルなどの中東や、ヨーロッパからの観光客の来客も増加している。

(3) 観光資源、拠点等の整備

***遊歩道の整備**

市内の様々な資源を散策していただくための遊歩道を環境省や北海道とともに整備されている。

***新たな観光スポットの整備**

平成 25 年度に登別国際観光コンベンション協会において、登別温泉のシンボル「鬼」にちなんだ九本の大きな金棒を設置し、新たな観光スポットとして PR を行っている。



(4) 外国人観光客受入環境整備（市事業）

*** We chat pay 導入実証実験事業（H29 年度）**

中国において急速に普及するモバイル決済サービスの調査研究を行い、圏域を訪れる訪日外国人のさらなる利便性と満足度の向上、旅行消費額の増大を目指し、実証実験を実施。

*** JR 登別駅サポーターサービス事業（H29 年度）**

H27 年度から継続して JR 登別駅において、手荷物運搬の補助を実施
(40 日 / 8,933 個)

*** JR 登別駅サポーターサービス事業（H30 年度）**

H27 年度から継続して JR 登別駅において、手荷物運搬の補助を実施
(30 日 / 7,057 個)

(5) 今後の課題と取組

- ① 登別市は、年間 400 万人の観光客が訪れる日本有数の観光地であるが、登別温泉地区以外の地区では、登別温泉をほとんど利用してことがないという市民のおり、観光に対する市民意識が希薄な状態となっている。

そこで、市民一人一人が観光への意識を高め、宣伝や観光ホスピタリティを担っていただくことが、前市観光へと結びつき市内経済の活性化が図られるものと考え、登別市最大の祭りである「登別地獄まつり」への参加を促す事業として、平成 23 年度から登別市連合町内会、登別国際観光コンベンション協会と連携し、地獄まつり

の鬼踊り参加者に 1,000 円分の入浴券の配布や、町内会単位で市内温泉施設の利用（令和元年度よりテーマパークを追加）する場合には女性する等により促進を図られ、登別慣行に対する市民意識が芽生えつつあるとのことである。

②北海道新幹線開業

これまでは、道内客が等地域の入込を支えてきたが、2035 年には、北海道は全国平均を上回る人口減少率となる試算もあり、道内客の継続的な取り組みは厳しいものと考えられ、道外や海外からの誘客促進が重要であるとのこと。

③道内周遊ルート構築事業

札幌市、函館と共同で、旅行商品造成などの誘客促進、域内周遊などの事業を展開し、3 市を巡る周遊ルートを北海道のゴールデンルートとすべく取り組みが行われている

【所管】

観光が市の主産業であり、観光客の消費と雇用が市の大きな経済効果をもたらしているため、観光事業に対する意識が伊万里市とはかなり差があります。

ただし、規模の大小には関係なく基本的な考え方は同じであると感じました。

伊万里市においても、焼き物の里「大川内山」の観光や伊万里牛等特産品に対する伊万里市の取り組む姿勢と市民意識のレベルが少し異なっているのではないかと思います。確かに外に向けての観光・特産品の PR も必要ではあるが、市民の中にも大川内山に行ったことがない方や伊万里牛をどこで食べられるのかを知らない市民もいるのではないだろうか。

また、伊万里市にも外国人観光客が宿泊されており、外国人は宿泊されても街中（繁華街）に出られる客が少ない、繁華街で食事される客はいないとか、よく耳にしますが、以前ある市外から来られた方から、伊万里市の繁華街は外国人には入りにくいのでは？と言われたのを思い出しました。飲食店の入り口の前に多言語によるメニューの表示がないため、外国人には入りにくいでしょう、ということでした。確かに、私も海外へ行ったときに、食事するには日本語表示の店が入りやすく安心して食事することができます。

伊万里市の観光事業を発展させるには、まずは市民意識を向上させることと、外国人等の消費意欲を高めるためには、まずは入りやすい・購入しやすい環境を整備すること、買いやすい雰囲気を作ることではないでしょうか。

大川内山では最近、ボタニティアガイドの会の皆様が、英語・中国語や韓国語を勉強され案内されていると聞いています。すべてを行政にゆだねるのではなく、まずは自分たちでできることをみんなで考えていくことが必要であると感じました。

【苫小牧市役所（みんなで健幸大作戦事業について）】

1. 苫小牧市の概要

苫小牧市は、北海道の南西部に位置し太平洋に面している。支笏洞爺国立公園の樽前山ふもとに開かれ、周囲には支笏湖などの湖沼や清流のほか、広大な森林などがあり自然環境に恵まれているところである。東にはウトナイ湖を有する勇払原野が広がり、自然と身近に接することができる町である

また、特定重要港湾苫小牧港を有し、鉄道幹線や国道、高速自動車道などの陸路交通のアクセスポイントであり、新千歳空港に隣接した北海道の海と陸の交通のかなめに位置している。

苫小牧市は道内有数の工業都市であり、石油製品・石炭製造品製造業、輸送用機械器具製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業がとくに盛んで、これらの3つで製造品出荷額全体の9割近くを占めている。製造業の事業所数と製造品出荷額の推移をみると、事業所の大型化傾向がみられるとのことである。

苫小牧市の人口は、令和元年9月町現在で171,288人、平成25年末が174,469人で、3,181人の減少となっており、苫小牧市でも少子高齢化が進んでいるとのことである。ただ、出生数の減少で自然動態が減少しているが、転入から転出をさし引いた社会動態は、平成30年度から増加に転じているとのことである。

2. みんなで健幸大作戦事業について

今年度の「みんなで健幸大作戦」については、2007年から始まった「大作戦シリーズ」で今年度の取り組みである。この大作戦シリーズは、当時の市長のトップダウン方式による政策で、①市政の重要テーマ ②まちぐるみ ③一年間 の3点を基本として、毎年市民にとっての問題となっていることを1年間かけて取り組んでいく事業である。

過去の実践大作戦

2007年～「053大作戦」（ゼロごみ）ごみの減量とリサイクルの推進

2008年～「歩こう！イキイキ健康大作戦」

2009年～「eco ライフ大作戦～053 ステージ2」

2011年～「みんなでふくし大作戦」

2012年～「053大作戦～ステージ3」

2013年～「未来へ！みなと大作戦～Gateway to the future～」

2015年～「053大作戦～ステージ4」

2016年～「ふくし大作戦！！2016」＋「つなごうスポーツ大作戦」

2017年～「ふくし大作戦！！2017」

(1) 2019年～「みんなで健幸大作戦」

スローガン 「健康寿命をのぼそう～ちょっと実行、ずっと健康～」

事業目的

日頃の生活を見直すことにより、市民の皆さんが生涯を通して、元気に健康で楽しく毎日をお送れることを目指します。

4つのアクションで行動開始

- *アクション1=定期的に健康状態を確かめよう
- *アクション2=適切な食生活で健康寿命を延ばそう
- *アクション3=たばこをやめて健康寿命を延ばそう
- *アクション4=適度な運動で健康寿命を延ばそう

総事業費 約500万円

事業内容

①セットで無料「タダとく健診」

40歳以上の苫小牧市国民健康保険加入者は、特定検診+がん検診（胃・肺・大腸）を無料としている。（令和2年2月29日まで）

②がん検診受診者優待サービス

胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんの内3種類以上受診された方へ、健幸レストランヘルシーランチ優待価格でおもてなし

③健診・検診やってまステッカー

特定検診・がん検診・歯周病健診を実施している医療機関にオリジナルステッカーを貼って健診・検診をPRしている。

④食育人材バンク登録者募集

食に関する達人を登録し、出前講座講師として派遣している。

⑤健幸レシピコンテスト

身近な食材を使って、おうちで簡単に作れる「ヘルシーおいしーあなたのレシピ」を募集し、採用されたレシピは、「健康フェスタ」ほか市内の健康イベントなどで紹介する。

⑥健幸レストラン

月1回（5月～2月）、保健センターで「健幸レストラン」がオープン。

市内の有名料亭と管理栄養士とのコラボランチを食べて、楽しく健康を学ぶ。

⑦空気のおいしい施設ステッカー

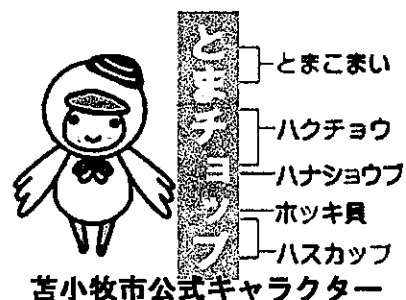
全面禁煙をしている飲食店や公共施設に「空気のおいしい施設ステッカー」を配布し、ステッカー配布施設は「空気のおいしい施設」として市のホームページで公表している。

⑧みんなでラジオ体操

子どもから大人まで、1,000人が集まってラジオ体操

他にも、健康に関する様々な取り組みを市職員みんなで考えながら実施されています。

また、市民活動の中で健康に関する講演会やイベントなどに「みんなで健幸大作戦」の冠を付け実施するなど、まちぐるみでイベントを盛り上げられている。



【所感】

大作戦シリーズは、現在の市長「佐藤裕」氏が、平成18年7月に就任されて取り組まれた事業であり、トップダウン方式での事業取組であったとのことである。

大作戦シリーズでは、市民全員が取り組める内容となれば、ある程度限られ、主にごみの減量化と福祉の取り組みとなっている。ただ、市民の関心度はかなり高いと思われます。

今回の健幸大作戦についても、2008年の「歩こう！イキイキ健康大作戦」2011年「みんなでふくし大作戦」2016年「ふくし大作戦2016」＋「つなごうスポーツ大作戦」2017年「ふくし大作戦2017」に続く、5回目の福祉問題への取り組みであるが、職員が市民の方が参加しやすい様々なイベントや事業を考えられていること、まさに市と市民が一体となった取り組みである。

今回の視察で感心したことは、視察内容に関する直接的な内容ではありませんが、市の公式キャラクター「とまチョップ」の幅広い活用です。「とまチョップ」という名前は、苫小牧市子ども議会でも子供たちで名づけられたこともあって、漫画での紹介や子供向けグッズの作成など、子供が浸しむことで親や高齢者まで浸透しているように感じました。

市の副市鳥にも就任し、市の様々な事業のロゴマークに使用されたり、企業や団体等の事業や活動のロゴマークにも使用することができ、市のPR活動には欠かせない存在で、かつ市の経済効果を高める役目も担っていると思われます。

伊万里市にも、「モーモーちゃん・もーもーくん」という公式キャラクターがありますが、大きなイベントや伊万里牛や伊万里物産展などでの活用はなされているものの、どこまで子どもたちや高齢者へ浸透していること思えば、知らない市民も多いのではないかと思います。

様々な事業やイベントで、ロゴマークとして使用することに対する費用はあまりかからず、職員の中にも「モーモーちゃん・もーもーくん」を漫画的にアレンジしてイラストを作ることができる方がおられるかもしれません。議会からも様々な活用方法を提案していただけたらと思います。

【石狩市（市民図書館の運営・こども未来館運営）】

1. 石狩市の概要

石狩市は、札幌市の北側に隣接し、総面積 722.42 km²、東西に 28.88 km、南北に 67.04 km に広がり、総人口は 57,842 人（令和元年 9 月末現在）で、伊万里市とほぼ同じ人口規模であるが、面積は伊万里市の 2.8 倍と広範囲となっている。

西側の石狩湾に臨む水に恵まれた環境にあり、江戸時代初期には河口部流域が「場所」（交易を行う範囲）に指定されたことや交通の要所であったことから、西蝦夷地の中心地として重要な役割を果たしてきた。

昭和 40 年に入ってから、札幌のベットタウンとして宅地化が進んだほか、石狩湾新港の建設と工業団地の造成が急速に進み、近年は新港をベースに国際的な文化・経済の拠点として発展している。

2. 石狩市民図書館

(1) 施設及び管理体制

①建物の概要

開館 平成 12 年 6 月
延床面積 3826.24 m²
敷地面積 9009.43 m²
建設総費用 29 億 5 千万円

②職員体制

館長兼副館長：1 名、主査以下：6 名、臨時：1 名
非常勤職員：24 名 1（本館：8 名、分館：6 名、学校：8 名、地域開放：2 名）

③開館・休館

開館時間 火・金（10：00～18：00）
水・木（10：00～20：00）
土・日・祝日（10：00～17：00）

閉館日 月曜日、祝日の翌日、月末図書館整理日（年 3 回）、年末年始など

④分館（3 か所）

- ・花川南（コミュニティセンター内）
- ・八幡（コミュニティセンター内）
- ・浜益（コミュニティセンター内）
- ・学校図書館の地域開放・・・1 か所
あいかぜとしょかん（厚田小学校内）

(2) 図書館の特徴

①コンセプト＝「図書館の中に町を作る」

- ◆段差がなく、ゆったりしたづくり
- ◆だれでも利用できる（利用のバリアフリー）
 - ・写真展、絵画展、作品展



石狩市民図書館についての説明

- ・コンサート（ジャズ、朗読、クラシックなど）
（石狩市民吹奏楽団による演奏会）
- ・映画上映会
- ・打合せ、読書会、講演会、講習会
- ・お茶会、遠足の休息
- ・科学の実験室（石狩翔陽高校化学部による化学工作室開催）
- ・買い物（館内入り口付近に地元野菜の直売所を設置）

より多くの方へ図書館に来館してもらうため、地元農家の野菜直売所を設置している。市民の交流の場ともなっている。

- ◆貸出冊数に上限がない（貸出期間は2週間）
- ◆自動貸し出し機を設置（開館当初に導入）
- ◆閲覧室内で飲み物 OK（食べ物はホールのみ）
- ◆閲覧スペースが多い（各所にキャレルや椅子を配置）
- ◆3自治体と、図書館同士で友好図書館協定を締結
（宮城県名取市、石川県輪島市、沖縄県恩納村）
- ◆ボランティアが活躍



図書館内の直売所

②改正図書館ビジョン

- ・子どもの学びを支援する
（ブックスタート、読み聞かせ、調べる学習コンクール出前講座）
- ・資料提供や「情報発信を通じて生涯学習を支援する
（「18歳からの選挙」特集コーナー、グッズ・パネルを掲示し防災をPR、館ネットワーク（公民館・資料館・図書館・保護センター）、友好図書館協定）
- ・市民のだれもが利用できるような環境を整備する
（出前貸出、サービスポイント設置（返却個所を5か所に拡大）、
- ・サービスを支える基盤を整備する
（図書館修理ボランティア、布の絵本ボランティア、フロアボランティア、図書館まつりでのボランティア、サイエンスアイ科学実験教室）
- ・利用者の期待に応える蔵書・情報源を構築する
（蔵書数の増加（H25年：306,133冊→H31年：325,766）

【所感】

石狩市民図書館は、H12年に開館されているが、図書館建設を検討されるにおいて伊万里市民図書館を視察されているとのこととあります。公共施設としての伊万里市民図書館は、全国的にも参考とされるほど充実した運営がなされていると思われまます。

今回の石狩市民図書館視察は、伊万里市民図書館を参考として開館されている図書館が伊万里市民図書館にない新たな視点による活動や運営がなされているのではないかとこのことで視察を行いました。

H30年度の伊万里市民図書館の貸出人数：88,646人・貸出点数：425,014点で、石狩市民図書館の貸出人数：122,826人・貸出点数：543,969点で、ともに近年は減少傾向にあります。

人口減少・少子高齢化も影響しているとは思われるが、インターネットやスマホといったIT技術の進で、本を読む習慣が減少してきているのではないかと思います。

それぞれの図書館では、様々なイベントや行事等を行い、来館者数を増やす取り組みがなされていますが、本を手にとって読むという本への親しみや楽しさを教える活動を今後どのようにしていき、図書館利用者を増やしていくかが重要であると思われます。

伊万里市での「家読」がその基礎となっているのではないかと思います。また全市的な取り組みではないように感じています。今後、「家読」を図書館事業と合わせどのように推進していくのかを研究していかなければならないと感じています。

3. こども未来館あいぼーと

(1) 施設の概要

①施設設置の経緯

- ・総合保健センター内の児童デイサービス事業の利用者増に伴い、併設されていた児童館の代替施設が必要となった。
- ・同地区内の小学校の教室を利用し運営していた放課後児童クラブが、特別支援学級児童数の増加で、クラブの代替施設が必要となった。
- ・こどもの居場所づくり対策として、特に中高生の居場所づくりが重要施策として位置づけられ、こどもたちが主体的に活動する場を提供することを目的として、これらに対応できる機能、また児童館、児童クラブの代替施設も併せ持った大型自動センターとしての整備が必要となった。

②施設の概要

敷地面積：3571.39 m² 建築面積：1024.91 m² 延床面積：991.46 m²

構造：鉄骨造り、平屋建て

総事業費：629,379 千円

(公有財産購入費：317,852 千円、建設費他：311,527 千円)

開館：平成 22 年度

③事業運営体制

運営形態 ・児童センター運営事業

指定管理 (特定非営利活動法人 スタッフ 4 名)

指定期間 平成 30 年度～33 年度 (4 年間)

・放課後児童健全育成事業 (定員 50 名)

業務委託 (特定非営利活動法人 スタッフ 4 名)

・地域子育て支援拠点事業 (一般 6 日型)

指定管理料 平成 30 年度 54,666 千円

④効果

- ・地域の子どもの拠点施設として、多くの異年齢児童に居場所・活動場所・生活の場として利用されており、また総合的な放課後等対策が推進されている。
- ・登校していない、また、したくてもできない児童生徒のための教育支援教室やひきこもり児童生徒の利用など、不登校等対策が推進されている。

- ・図書館の書籍をこども未来館に配置し、定期的に交換を行うなど連携を行っている。

⑤利用状況

年 度	H26	H27	H28	H29	H30
開館日数	344 日	347 日	345 日	346 日	343 日
利用者数	23,728	22,992	24,705	28,660	28,280
幼 児	1,534	1,204	1,048	1,350	1,222
低学年	4,089	4,141	4,626	6,085	6,581
高学年	5,845	5,400	7,261	7,150	7,345
中学生	6,579	7,446	6,100	8,013	7,110
高校生	2,882	1,781	3,403	3,477	3,286
大 人	2,799	3,020	2,267	2,567	2,736
1 日 当 り 利 用 者 数	69	69	78	82	82

⑥利用者の傾向及び反応

- ・多くの異年齢児童の居場所・活動場所・生活の場として利用されており、日々自発的な交流が図られている。また、地域の子どもの拠点施設として、総合的な放課後等対策が推進されている。
- ・異年齢児童が利用するため、安全で安心して利用できる施設を求める声があるが、指導員の見守りにより、これまで特に大きな問題は発生していない。
- ・石狩市は路線バスがメインの交通手段であり、夏場は自転車、冬場はバスを利用することが多く、特に冬場はバス待ちの高校生が増える。

⑦特色ある取り組み

◆こども会議

- ・小学3年生から高校生で構成され、自分で考え行動し自治できる子どもたちを育てていくことを目指している。
- ・スペシャル縁日やこどもまつりなど、行事の企画や日常のルールの検討などを行っている。

◆スタジオ会議

- ・文化活動室（スタジオ）を利用する中学生・高校生のダンス・バンドグループで構成される会議で、施設や楽器・機材の使い方を考えたり、ライブ活動の企画・実施を行う。

⑧今後の活動

- ・子どもの自主的な活動ができる環境づくり
- ・子どもの視点や意見が運営や活動に生かせる取組やソフト事業の充実・拡大を図り、多くの異年齢児童に利用される安全・安心な施設づくり
- ・保護者や地域住民、また学校等との情報交換



文化活動室（スタジオ）

などによって、家庭、地域、学校等の関係機関との強固な連携・協力体制を構築する必要がある。

【所感】

建設経緯の中で、児童館と児童クラブの代替えが必要となっている中で、子どもの居場所づくりとして、特に中高生の居場所づくりを重要施策として、約6億3千万円の事業費を市民や議会の理解が得られたことに驚きました。

「こども未来館あいぽーと」は、石狩市民図書館と隣接した場所に建設され、ともに子どもの発育段階において重要な施設である。石狩市は、札幌市のベットタウンとしてを発展していることで、子育てに関する施策を重要視されているのではないかと感じました。

特に中学生・高校生の居場所づくりについては、現在の財政難の市町村において、検討はされるが実行できる市町村は少ないのではないのでしょうか。今後各自治体に求められることは、近隣の自治体と同じことを行い競争していくのではなく、各自治体の特色を生かした政策をどのように企画・実践していくかが必要であり、市民意見の反映を進める必要があると感じました。

現に、「こども未来館あいぽーと」建設に際し、行政上の決定に市民の意見を活かす目的で制定された「石狩市行政活動への市民参加の推進に関する条例(市民の声を活かす条例)」により、その企画立案段階において市民意見を聴き、設計等に反映する取り組みがなされている。また、学識経験者を中心とした市民会議やパブコメはもちろんのこと、実際に施設を利用する子供たちの声を反映するために、利用対象学区の児童生徒等2,000人にアンケートを実施し、ある程度の意見要望に沿った施設となっている。

現在、伊万里市で公共施設等の建設を行う場合、有識者会議や市民説明会・区長会等での説明会又は意見交換会が行われていますが、将来の利用対象となる学生や若者の意見をどのようにして取り上げるかを議会としても検討していく必要があるのではないかと感じました。

様式第5号・その4 (第7条関係)

(年間分)

資 料 購 入 費

(支出明細書)

経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備 考
図 書	図書名		
月 刊 誌 等	誌名		
新聞購読料	新聞名 日本農業新聞	28,853	$31,476 \div 12 \times 11 = 28,853$
	全国農業新聞	7,700	$8,400 \div 12 \times 11 = 7,700$
家庭用新聞名	佐賀新聞		経費に含まない。(第1紙)
そ の 他			
合 計		36,553	

No. J 07784

領 収 証

収
入
印
紙


木武 勝 範 殿

種 別	金 額	備 考
日本農業新聞代	3,314.76	平成31年4月～ 令和2年3月
合計金額 円	3,314.76	

上記の金額確かに領収しました

令和 2 年 3 月 27 日

取

 伊万里市農業協同組

領 収 書

力武 勝範 様

印紙税法第
5条第1項
第2号より
収入印紙を
貼付せず

¥ 4, 200 円

全国農業新聞購読料として

(令和元年10月~令和2年3月分)

上記の金額を領収いたしました

令和2年3月23日

伊万里市農業委員会事務局

事務局長 野 中 信



領 収 書

力武 勝範 様

印紙税法第
5条第1項
第2号より
収入印紙を
貼付せず

¥ 4, 200 円

全国農業新聞購読料として

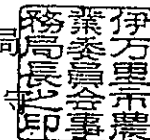
(平成31年4月~令和元年9月分)

上記の金額を領収いたしました

令和元年12月20日

伊万里市農業委員会事務局

事務局長 野 中 信



様式第5号・その5 (第7条関係)

(1回1枚作成)

広 報 費
(支出明細書)

広報内容	議会活動報告		
実施年月日	令和元年 7月 17日		
経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備 考
活動報告会費	会場借上料		
	人件費		
	茶菓子代		
	その他		
印刷費等	印刷代	21,060	1500枚
	コピー代		
	用紙代		
	消耗品		
	その他		
郵送代	封筒代		
	はがき代		
	切手代	20,828	
その他			
合 計		41,888	

領 収 証

No 007070

令和 1 年 7 月 17 日

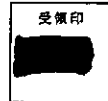
力武勝範 様

金額 | | | 7 | 2 | 1 | 0 | 6 | 0 | -

上記の金額正に領収いたしました。
但し 議会議事報告代として

現金	✓
小切手	
手形	
相殺	

印紙
5万~100万以下
200円
100万~200万以下
400円
200万~500万以下
600円



株式会社 工一

〒849-4271 佐賀県伊万里市東山
TEL 0955-2-
FAX 0955-2-

領収書

力武勝範 様

[別納引受]		
第一種定形 @82	132通	¥10,824
小計		¥10,824
郵便物引受合計通数	132通	
課税計		¥10,824
(内消費税等 非課税計		¥801 ¥0
合計		¥10,824
お預り金額		¥10,830
おつり		¥6



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2019年 8月13日 15:18
担当：[Redacted]
発行No. 190813A2859 端N90箱01
連絡先：伊万里大久保郵便局
TEL:0955-28-0500

郵便局からのお知らせ

**2019年10月1日(火)から
郵便料金などが変わります。**

消費税率の改定に伴い、郵便料金などを
変更させていただきます。
詳しくは、日本郵便株式会社Webサイトを
ご覧いただくか、お近くの郵便局にお尋ねください。



領収書

力武勝範 様

[別納引受]		
区内特別基 (定) @72	132通	¥9,504
小計		¥9,504
郵便物引受合計通数	132通	
課税計		¥9,504
(内消費税等 非課税計		¥704 ¥0
合計		¥9,504
お預り金額		¥10,000
おつり		¥496

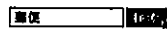


〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2019年 8月13日 14:46
担当：[Redacted]
発行No. 190813A5476 端N03箱01
連絡先：伊万里中里郵便局
TEL:0955-23-5497

郵便局からのお知らせ

**2019年10月1日(火)から
郵便料金などが変わります。**

消費税率の改定に伴い、郵便料金などを
変更させていただきます。
詳しくは、日本郵便株式会社Webサイトを
ご覧いただくか、お近くの郵便局にお尋ねください。





伊万里市議会議員 力武かつのり 議会活動報告

<発行／編集>

力武勝範（伊万里市議会議員）

〒848-0035

伊万里市二里町大里乙 1182 番地 1

Tel. 0955-22-363

E-mail:katunori.1116@m01.fitcall.net

本年 4 月の市議会議員選挙において、再度市議会議員として活動を行うことができますこと、これもひとえに市民の皆様のご支援によるものと深く感謝いたしております。誠にありがとうございます。

これからも常に自己研鑽に努め、市民の皆様のご意見をしっかりと聴き、積極的に議論・発言し、皆様の期待に応えられるよう、また最適な市政運営になるよう議会活動に邁進してまいります。

今後の伊万里市の行財政運営について

6 月定例会において、今後の行財政運営についての一般質問を行いました。

伊万里市の大きな課題として、今後人口減少やふるさと納税の減少等歳入面では大きく増加する見込みはなく、逆に少子高齢化の進展に伴う「扶助費」等義務的経費の増加に加え、医療・介護費の増加や、公共施設の老朽化に対する施設投資の経費増加など歳出は更に増加することが考えられます。

特に公共施設の老朽化問題（ファシリティー・マネジメント）については、現状の施設を維持した場合、今後 40 年間で更新費用が 521 億円（年間 13 億円）が必要となり、近年の平均年間施設整備・維持費が 7 億 6 千万円であることから、年間 5 億 4 千万円の不足（40 年間で 217 億円の財源不足となります）。

* 今後の対策としては！

今後の整備方針として、①施設保有量の縮小、②効率的な利活用の推進、③複合施設の推進、を基本として、市の全ての公共施設の再配置の方向性を今年度中に策定する予定である。

直近の対策としては、昭和 46 年に建設された市民会館については、大規模改修等が必要であること、さらに市民センター（平成 4 年建設）も老朽化しており、両施設を維持していくことは困難であることから、市民センターへの一元

化を図り市民会館（大ホール）は、令和 2 年 4 月 1 日以降の予約は休止されています。

また、児童生徒数の減少に加え、校舎の老朽化対策として、伊万里市立学校規模適正化協議会等を設置し、近隣の学校との統合を協議・検討する。保育園等についても、民営化や公民館等との複合化による整備を具体的に検討する。その他、公民館等全ての公共施設について存廃を含めた整備方針を検討する。

以上のような内容が今回市民説明会で説明がなされていましたが、平成 29 年 3 月に策定された「伊万里市公共施設等総合管理計画」において、平成 29 年度中に再配置に関する方針の決定、平成 30 年度中に市民の意見を踏まえ、再配置計画を策定するとされている。

本来であれば、すでに再配置計画が策定されていなければならないが、2 年遅れとなっている。今後は遅れが出ないように、専門部署を設置し方向性策定し、出来るだけ早めに更なる市民説明会を行うよう意見を付しています。

また、今回の説明会は、基本的な総論としての説明であり、この総論としての内容は、すべての市民の方に共通認識として理解してもらう必要があると思われることから、市民や組織等からの要望があれば、現在行っている「今後の行財政運営について」の説明会をいつでも開催するとのこと。

ぜひ多くの市民の方による座談会的な説明会を要望されることを期待しております。

幼児教育・保育の無償化について

幼児教育・保育の無償化は、「幼稚園・保育所・認定こども園等を利用する、3 歳児から 5 歳児までの全ての子どもたちの利用料と住民税非課税世帯の 0 歳児から 2 歳児までの利用料が無償化される」と定められています。

ただし、これまでの保育料がそのまま全額無料になるわけでは無いということです。

これまでの保育料の中には、給食費としての

食材料費も含まれているとのことで、今回の無償化の範囲には含まれず、食材料費相当額は実費として今後保護者が施設へ直接納入することになっています。

では、今後保護者が食材料費として納める金額はどのくらいになるのか？ということになります。

食材料費については、年収 360 万円未満の世帯及び第 3 子以降の食材料費を免除対象者として、国が給付することになっており、1 人当たり 4,500 円 (2 号認定子ども) となっています。免除にならない方も当然に 4,500 円になるのではないかと考えられますが、現在施設によっては、食材料費に 5,000 円相当額を使用されている施設もあるとのことで、免除対象者の食材料費支給額についての議論が必要になってくるのではと思います。

また、今後食材料費は、施設が収納することとなりますが、食材料費の延滞管理を保育所等の職員がすることになりますが、難しい案件も発生すると思われるため、行政におけるきめ細やかな支援体制が必要であり、市としてもできるだけ支援は行っていくとのことです。

その他補正予算の主なもの

○プレミアム付商品券発行事業

(3 億 5,445 万 1 千円)

消費税引き上げが低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費の喚起や下支えを行うため、プレミアム付商品券の発行、販売を行う。

・対象者、購入限度額

①今年度の住民税非課税者

1 人につき 2 万 5 千円分 (販売額 2 万円)

②平成 28 年 4 月 2 日～令和元年 9 月 30 日

までの間に生まれた子がいる世帯の世帯主、対象児童 1 人につき 2 万 5 千円分 (販売額 2 万円)

・購入方法 (①②とも)

5 千円分の商品券を対象者は 4 千円で購入でき、最大 5 セットまで購入可能

(※プレミアム分は全額国庫負担)

○森林経営管理事業 (680 万円)

森林の経営管理 (伐採、造林等) の適正化を義務付けた「森林経営管理法」の施行 (H31 年 4 月) に伴い、適切な管理がなされていない森林について、当該森林の所有者と、意欲

と能力のある林業経営者を市が仲介することにより、森林の適正な管理と林業経営の振興を図る。今年度は、市内全域の森林の管理状況を把握するとともに、管理が不適切な森林所有者に対し、年次的に今後の管理と林業経営の意向を調査する。(森林ゾーニング及び所有者意向調査業務委託料。)

伊万里・有田共立病院

平成 30 年度決算 9,130 万円の黒字

6 月 21 日の令和元年第 1 回伊万里・有田地区医療福祉組合議会臨時会終了後の全員協議会において、平成 30 年度の病院事業の決算見込みは、収益的収支 9,130 万円の黒字の見込みである、との報告がありました。(前年 = 7,350 万円の赤字)

*収入: 39 億 7,352 万円 (対前年比 104.5%)

*支出: 38 億 8,221 万円 (対前年比 100.2%)

*経常損益: 9,130 万円の黒字

*累積欠損金: 6 億 2,740 万円

(前年 7 億 1,871 万円)

・黒字になった主な要因

収入の部の入院収益では、入院患者数は減少したものの、入院患者 1 人当たり収益が増加し、結果的には前年比 6,785 万円の増加となった。また市町からの負担金等が前年比 8,671 万円の増加となり、収入合計前年比 1 億 7,211 万円の増収となっている。

支出の部では、給与費が人員増及び待遇改善等で 6,148 万円の増加となったが、材料費のベンチマークシステム (多数の病院の最新購入価格をインターネット上で比較・検討することにより、当病院の価格のポジションを明確化し、購入価格の引き下げ交渉に有力な情報として活用できるシステム) の活用で前年比 3,045 万円の減少、及び機械備品の減価償却が前年比 2,499 万円の減少となっている。

なお平成 30 年度から、市町からの負担金を 7,520 万円 (伊万里市: 4,244 万円、有田町: 3,276 万円) 増額していることで、黒字となっているが、経営努力による要因もあり、また令和 2 年度から臨時職員が会計年度任用職員制度への移行により、人件費が増加する見込みであること、それに累積欠損金が、まだ 6 億 2,740 万円も残っていることなどから、市町の負担金については、累積欠損金の解消にめどがつくまでは、継続したほうが良いのではないかと考えています。

様式第5号・その5 (第7条関係)

(1回1枚作成)

広 報 費

(支出明細書)

広報内容	議会活動報告		
実施年月日	令和元年 11月 / 日		
経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備 考
活動報告会費	会場借上料		
	人件費		
	茶菓子代		
	その他		
印刷費等	印刷代	21,450	1500枚
	コピー代		
	用紙代		
	消耗品		
	その他		
郵送代	封筒代		
	はがき代		
	切手代	20,829	
その他			
合 計		41,779	

領収証

№ 007089

令和 / 年 / 月 / 日

力武勝範 様

金額 | | | ¥ | 2 | 1 | 4 | 5 | 0 |

上記の金額正に領収いたしました。
但し 議定活動報告代と見

現金	レ
小切手	
手形	
相殺	

印紙
5万~100万以下
200円
100万~200万以下
400円
200万~300万以下
600円

株式会社 工一

〒849-4271 佐賀県伊万里市東山
TEL 0955-2
FAX 0955-2

受領印

領収書

力武勝範 様

[別納引受]		
区内特別基 (定)		
@73	145通	¥10,585
小計		¥10,585
郵便物引受合計通数	145通	
課税計 (10%)		¥10,585
(内消費税等)		¥962
非課税計		¥0
合計		¥10,585
お預り金額		¥10,600
おつり		¥15

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2019年11月18日 14:49
担当：[REDACTED]
発行No. 191118A3114 端N90箱01
連絡先：伊万里大久保郵便局
TEL:0955-28-0500

郵便局からのお知らせ

**2019年10月1日(火)から
郵便料金などが変わりました。**

消費税率の改定に伴い、郵便料金などを
変更させていただきました。
詳しくは、日本郵便株式会社Webサイトを
ご覧いただくか、お近くの郵便局にお尋ねください。

郵便 [REDACTED] 郵便 [REDACTED]

領収書

力武勝範 様

[販売]		
森の贈りもの第3集・84		
	840円 11枚	¥9,240
84円普通切手		
	84円 6枚	¥504
小計		¥9,744
課税計 (10%)		¥0
(内消費税等)		¥0
非課税計		¥9,744
合計		¥9,744
お預り金額		¥10,000
おつり		¥256

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2019年11月20日 13:47
担当：[REDACTED]
発行No. 191120J4712 端N03箱01
連絡先：伊万里中里郵便局
TEL:0955-23-5497

郵便局からのお知らせ

**2019年10月1日(火)から
郵便料金などが変わりました。**

消費税率の改定に伴い、郵便料金などを
変更させていただきました。
詳しくは、日本郵便株式会社Webサイトを
ご覧いただくか、お近くの郵便局にお尋ねください。

郵便 [REDACTED] 郵便 [REDACTED]



伊万里市議会議員 力武かつのり 議会活動報告

<発行/編集>

力武勝範 (伊万里市議会議員)

〒848-0035

伊万里市二里町大里乙 1182 番地 1

Tel. 0955-22-3639

E-mail: katunori.1116@m01.fitcall.net

各町の公民館をコミュニティセンターへ変更する計画！名称変更で何が変わるのか？

現在の公民館は、社会教育施設としての機能を有し、社会教育法上、営利を目的とした施設の利用が禁止されています。今後、さらに多様化する地域ニーズの課題に対し柔軟で直ちに対応でき、活発な地域づくり活動を促進するため、使用上の制限がかかる社会教育施設からコミュニティ施設へ変更することで、地域づくりに係る特産物の販売や住民の自立的な地域づくり活動など利用の幅が広がります。また、地域活動を支える財源を、公民館を活用した自主財源確保につなげたい意向もあると思われま

す。公民館の利用の幅が広がることについては異論はないと思われませんが、営利を目的とした利用が優先され、これまで行ってきた住民主体となった活用が制限されたり、SF 商法（催眠商法）など住民の安全・安心な暮らしを支えるコミュニティ機能が阻害されないよう留意が必要であります。

今年の 12 月議会へ「伊万里市コミュニティセンター設置条例（案）」等関係条例が上程される予定であります。条例・規則において施設利用の目的を明確に示すとともに、地域づくり、市民福祉の向上、生涯学習の推進を最優先とし、営利活動のための施設利用や販売行為などについて制限を設けていくなどの対策が取られているか、しっかりと検証・議論します。

一定規模の太陽光発電・風力発電の設置について、事前に住民説明会が必要となる条例制定予定！

本市においても、地球温暖化防止の観点から、再生可能エネルギーの導入促進に努めているが、本市の美しい自然環境、魅力ある景観や良好な生活環境の保全及び形成と再生可能エネルギー発電事業との「調和」が欠かせないものであります。

特に、太陽光発電・風力発電施設の設置には、住民等に対する事前説明の手続きなど、現行法令には規定がないことから、発電設備の設置・運用に関して、本市における発電事業のルールと手続きを定め、潤いある豊かな地域社会の発展と地球温暖化対策の推進に寄与することを目的としています。

この条例では、発電設備の事業区域が 1,000 m²以上、または高さが 15m を超える事業には本条例が適用されます。上記事業者が事業を行うときには、景観や自然環境及び生活環境に配慮し、関係住民に対し事業の内容、維持管理の方法など住民説明会を行わなければならないとしています。また、市は、美しい自然環境、魅力ある景観、良好な生活環境の保全・形成を図るため、発電事業を抑制する区域を指定することができるとし、事業区域が抑制区域に存するときは、事業について同意しないものとするを条文化される予定です。

「伊万里市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例（案）」は、本年 12 月の議会に上程される予定です。

9月補正予算の主なもの

○移住・定住促進事業（移住支援事業）

(204万円)

東京圏からのUIJターンによる移住促進のため、都道府県が運営するマッチングサイトに掲載された求人情報により企業に就職し、又は起業した移住者に対し、移住支援金を交付します。(100万円×2世帯、事務費4万円)
(負担割合：国1/2、県1/4、市1/4、)

○さが未来アシスト事業費補助金

(357万2千円)

人口減少に伴う活力低下が顕著な地域において行われる、自然、人などの地域資源を活かした自発の地域づくりに関する取り組みに対し、補助金を交付します。

- ・黒川まちづくり運営協議会
- ・古伊万里通りのおひなさま実行委員会
- ・波多津町浦区
- ・松浦町岳坂区
- ・川内野コメ COME 倶楽部
- ・南波多フットパス研究会

○公立保育園等施設整備検討委員会

(18万3千円)

老朽化が著しい公立保育園等施設の効率的な整備方法を審議するため、委員会を設置し、整備基本計画を策定します。事業費は委員の謝礼等に使用します。

○認可外保育施設等利用費支給事業

(560万円)

令和元年10月から実施される幼児教育・保育の無償化に伴い、保育の必要性の認定を受けた子どもの幼稚園の預かり保育及び認可外保育施設等の利用について、利用費を支給します。

○ふるさと伊万里就業奨励金(140万円)

若年層の市外からの転入を促進し、市内中小企業等の人材確保を図る就業奨励金について、対象者が見込みよりも多く当初予算に対し不足が生じるため、増額します。

(就業奨励金一人当たり20万円)

- ・当初予算 20万円×5名=100万円
- ・補正予算 20万円×7名=140万円

二里町で、まちづくりの座談会（二里町の地域づくり検討委員会）を開催

二里町では、市の地域づくり交付金活用した人材育成やまちの活性化を考えるための検討委員会を他の町に先駆けて設立しました。

委員メンバーは、まちづくり推進協議会会長、区長会会長、各地区区長さんからの推薦による30～40歳代の方、二里町なんとかしゅう会及び市役所地域支援員・公民館職員の計23名で、これからの二里町を担っていくであろう若い方が多い組織となっています。

第1回目の委員会(8月6日)では、「50年後の二里町」をテーマとしたグループワークでの座談会を行い、各グループにおいて、地域活性化、過疎化、子育て、高齢化、仕事や観光など様々な角度からの二里町の姿及び取り組むための戦略や課題等についての意見を出し合いました。

第2回目(10月15日)は、第1回目で出された取り組む内容を、それぞれのグループにおいて絞り込み、具体的活動内容及び本年度において取り組むことができる事などを協議・検討しました。今回の絞り込みの中では、ウォーキングというキーワード多数抽出されており、ある委員から、今年度は試行的に親子で参加する炭山ウォーキング(仮称)を行ってみてはとの概要案が紹介され、来年3月の春休みを目標に具体的計画案の作成に取り掛かっております。具体的な計画書が策定されれば、二里公民官報や回覧板、ケーブルテレビや各委員のSNSを活用して広くPR及び募集を行いたいと思います。

二里町では、この委員会での座談会を継続的に行い、まちの活性化に積極的に取り組むこととされています。



広 報 費

(支出明細書)

広報内容	議会活動報告		
実施年月日	令和2年1月20日		
経 費 明 細 書			
項 目	内 容	金 額 (円)	備 考
活動報告会費	会場借上料		
	人件費		
	茶菓子代		
	その他		
印刷費等	印刷代	2,824	1600枚
	コピー代		
	用紙代		
	消耗品		
	その他		
郵送代	封筒代		
	はがき代		
	切手代	19,044	
その他			
合 計		40,868	

A-ONE

領収証

No 007337

令和 2 年 1 月 20 日

力武勝範 様

金額 | | | 7 | 2 | 1 | 8 | 2 | 4 | -

上記の金額正に領収いたしました。
但し 議員活動報告代として

現金	<input checked="" type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
手形	<input type="checkbox"/>
相殺	<input type="checkbox"/>

印紙
5万~100万以下 200円
100万~200万以下 400円
200万~300万以下 600円

株式会社 **工一**

〒849-4271 佐賀県伊万里市東山
TEL 0955-2
FAX 0955-2

受領印

領収書

力武勝範 様

[別納引受] 区内特別基 (定) 073	132通	¥9,636
小計		¥9,636
郵便物引受合計通数	132通	
課税計 (10%)		¥9,636
(内消費税等)		¥876)
非課税計		¥0

合計 ¥9,636
お預り金額 ¥10,000
おつり ¥364



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2020年 1月27日 11:16
担当：[Redacted]
発行No. 200127A3300 端N90箱01
連絡先：伊万里大久保郵便局
TEL:0955-28-0500

領収書

力武勝範 様

[別納引受] 第一種定形 084	112通	¥9,408
小計		¥9,408
郵便物引受合計通数	112通	
課税計 (10%)		¥9,408
(内消費税等)		¥855)
非課税計		¥0

合計 ¥9,408
お預り金額 ¥10,000
おつり ¥592



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2020年 1月27日 11:59
担当：[Redacted]
発行No. 200127A6290 端N03箱01
連絡先：伊万里中里郵便局
TEL:0955-23-5497



伊万里市議会議員 力武かつのり 議会活動報告

<発行／編集>

力武勝範（伊万里市議会議員）

〒848-0035

伊万里市二里町大里乙 1182 番地 1

Tel 0955-22-3639

E-mail:katunori.1116@m01.fitcall.net

新しい年を迎え、本年が皆様にとって災害もなく平穏で心豊かに暮らせる素晴らしい年であることをお祈りいたします。これからも、市民福祉の向上のため、議会活動・議員活動を積極的に行ってまいります。

本年もよろしくお祈りいたします。

令和 2 年 4 月 1 日から二里町内にデマンドタクシー運行予定

平成 29 年 8 月に設置した「二里町公共交通網整備計画検討委員会」において、これまで二里町民にとって最もふさわしい交通手段についての協議を重ねてきました。住民アンケートや委員会の中で、病院や買い物等町外へ出向きたいとの意見が多く、町内循環型のコミュニティバスより町外まで行かれるデマンドタクシー（予約制乗合タクシー）が適しているとのことで、市の担当者と調整を図ってきました。昨年 11 月の委員会に置いて、市担当者から「二里町デマンドタクシー」の具体案が示され、委員会の中で運賃等について意見が出されましたが、運行開始以降も定期的な検証を行い変更もありうるとのことで、市の原案通りで承認され運行されることになりました。本年 1 月中に対象地区となる大里区及び中里地区の各行政区において説明会が開催され、2 月に各家庭へチラシ「二里町デマンドタクシーのご案内」と「利用登録票」が配布されます。なお、二里町デマンドタクシーは、これまで週 2 回（火曜日・金曜日）の「いまりんバス」及び西肥バスの「炭山線」の廃止に合わせて運行が開始されます。

運行開始日 令和 2 年 4 月 1 日

運行日 月・水・金曜日

運行便数 ①伊万里駅行き 1 日 5 便

②共立病院行き 1 日 2 便

運賃 大人 500 円、小学生 300 円

詳しくは、ご案内のチラシをご覧ください。

乗車する場合は、登録番号が必要ですので事前に登録をお願いします。また登録される場合は、子供さんも含めて家族全員の登録をお勧めします。

【12月の議会での一般質問】

●留守家庭児童クラブ民営化後の評価

留守家庭児童クラブは、平成 30 年 4 月から運営業務を民間事業者へ業務を委託をしています。公営の時と民営化後での児童に対する健全育成という観点からの評価（向上できているか）を問いました。

執行部からの回答は、支援員の確保、開設時間の延長など業務面での改善の報告がなされましたが、児童に対する育成支援という面での改善報告はなされませんでした。

特に支援が必要な児童に対する支援員の配置や研修等については、まだまだ不足しているのが実状であります。また、保育園や小学校との連携が十分でないことも問題となっており、令和 2 年度からは、積極的に改善に取り組むよう意見を述べました。今後も引き続き児童クラブを訪問し、問題がないか調査・研究し、児童の健全育成に取り組めます。

●集落営農の法人化

伊万里市には 7 つの集落営農が存在し、経営所得安定対策交付金が交付されるためには法人化が要件となっているが、これまでの法人化に向けた指導状況や法人化の期限はどのように考えられているのかなどを問いました。

執行部からは、集落営農の代表者を対象とした研修会を開催し、法人化を推進してきたが、リーダー不足や集落営農内の意思統一不足などで、法人化が出来ていなく、このままでは経営所得安定対策交付金の交付は出来なくなる。それぞれの集落営農において、令和 2 年度の総会で、法人化を目指すのか目指さないのかを決議し、目指すのであれば、法人化に向けた具体的計画書の作成が必要であるとのことである。

現在の集落営農を新たな方向性で法人化を目指すとなれば 2～3 年間は必要であり、2～3 年間で法人化計画を策定することとし、今後も法人化に向けた指導を徹底するよう意見を述べました。

議会運営委員会で議会改革に積極的に取組まれている先進地市議会を視察して感じたこと！

●取手市議会は、「市民に信頼される議員とは」「市民に興味・関心を持ってもらえる議会にするには」等議員研修会を通して「議会報告会」「市民との意見交換会」「中学生の議場での意見発表会」など様々な議会活動がなされていました。

●所沢市議会においては、議会基本条例に則して、議員自ら議会の評価を行い、政策討論会や市民との懇談会を積極的に行うなど、市民に信頼される議会活動を目指されていました。

★先進地を視察して！

現在、伊万里市議会の各委員会での行政視察は、視察後視察内容を単に報告書として議会事務局に提出するのみで、全議員に対する周知や共有が出来ていない状況にあります。各委員で行う行政視察は、議員個々の知識習得や一般質問の材料集めのためのものではなく、よりよい市政を構築するために行うもので、全議員で共有し市政に反映させていくべきものであります。

今回の視察を通して、伊万里市議会も常に改革に取り組み、信頼される議会運営を目指したいと思い、議会運営委員会において全議員に対する視察報告会を公開の場で行うよう提案しましたが、数人の議員の反対により実現することができませんでした。行政視察報告会は、市民や議員にとってメリットはあってもデメリットは何もないのに反対される議員がいるとは本当に驚きました。派閥や個人的感情を会議室に持ち込むことは真の議論ができず、市民の信頼を損なうことになりかねません。すべての議員が自己の利益や感情を優先させることがないよう、引き続き様々な方向から改善提案を繰り返し、常に市民の側に立った議会運営、議会活動ができるよう改革に努めます。

12月議会の主な議案

○自然環境と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例

関係住民等の範囲についての議案質疑を行いました。制定後も検証しながら必要な時は改正も行うとのことで、原案通りに全員賛成で可決いたしました。

○コミュニティセンター設置条例

各町公民館をコミュニティセンター化することについて、原案通り全員賛成で可決いたしました。

○部設置条例の一部を改正する条例

社会状況の変化や市民の視線に立った分かりやすく利便性の高い組織機構とするため部の体制などを変更されます。主なものとしては、これまでの市民部を市民生活部と福祉部に分割し、産業部と建設部を統合し建設産業部とする。

12月補正予算の主なもの

○ふるさと応援寄付募集事業(6,235万9千円)

ふるさと応援基金への寄附金額が当初見込みを上回ることから、寄附の返礼に要する経費を増額します。寄附見込み額=12億円(当初10億円)ちなみに、12月末で寄附額は15億円を突破しました。(やはり伊万里牛の人気は高いです。)

○さが未来アシスト事業費補助金(304万円)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる自主的な「支えあい」活動の一層の推進を図るため、世代間交流や地域コミュニティ活動のための地域共生ステーションの整備等に対し補助金を交付します。事業主体=NPO法人栄町地域づくり会

○障害児通所給付事業(3,699万2千円)

障害児に対する児童発達支援や放課後等デイサービスなどの利用児童数及び利用回数の増加により通所給付費が当初見込みを上回ることから、通所給付費等を増額します。

○子どもの医療費助成事業(542万3千円)

市内に住所を有する小学生から中学生までの子どもの医療費が当初見込みを上回ることから、助成金を増額します。年々増加しているが、今回の主な原因は、昨年までの償還払い(後日申請により助成金を受け取る)から現物給付(受診時に助成金を差し引いた額を支払う)に変更したため、受診者数が増加していると思われる。

○園芸農業機械・施設等整備支援事業

(3億4,773万2千円)

J A伊万里の南波多梨選果場を廃止し大川梨選果場へ統合し、大川梨選果場の整備に要する経費を補助します。(50%国庫補助)

○文化財保護総務事業(腰岳黒曜石シンポジウム開催業務委託)(42万円)

「腰岳黒曜石原産地研究グループ」により、腰岳における黒曜石の生成過程や流通経路等に関する調査・研究が行われ、一定の成果がまとまったことから、その内容を広く市民に公開するためのシンポジウムを開催します。

開催時期：3月7日(土曜日) 予定

開催場所：伊万里市民図書館

開催内容：調査・研究の成果報告他

様式第5号・その9 (第7条関係)

(年間分)

そ の 他 の 経 費

(支出明細書)

項 目	内 容	金 額 (円)
通 信 費	携 帯 電 話 料	円
	イ ン タ ー ネット 関 連 費 用	年額 円 × % = 円
	タ ブ レ ッ ト 型 端 末 通 信 料	2500円 × 5ヶ月分 = 12500円
合 計		12,500 円

【携帯電話料明細】

月	支出額	支出額の1/2	対象経費
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
計			

備考 対象経費は、支出額の1/2とする。ただし、その額に1円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとし、月額3,000円を限度とする。

iPad通信料入金状況

力 武 勝 範 様

入金年月日	入金額	備考
令和 元 年 5 月 21 日	4,891	R1.5月分
令和 元 年 6 月 21 日	4,891	R1.6月分
令和 元 年 7 月 19 日	4,891	R1.7月分
令和 元 年 8 月 21 日	4,891	R1.8月分
令和 元 年 9 月 20 日	5,199	R1.9月分
合 計	24,763	

伊万里市議会議員会へのiPad通信料の入金状況は、
上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 2 年 3 月 4 日

伊万里市議会議員会 代表 馬場 繁